

学 習 指 導 案

岩手県立宮古工業高等学校

- 1 授業者氏名 北 田 昌 志
- 2 日 時 平成24年10月3日(水) 4・5・6校時
- 3 対象学級 電気電子科1年 22名(男子22名) 2班7名
- 4 場 所 電気電子科工作実習室
- 5 科目・単元 工業技術基礎 「電力調節器の製作」
- 6 使用教科書 電力調節器の製作プリント
- 7 本時の位置 電力調節器の製作(15時間配当)の 7～9時間目
- 8 指導目標 (1) 製作にあたり使用する器具の使用方法、安全作業の重要性について理解させる。
(2) 製造物責任法(PL法)をふまえ製作時の重要性について理解させる。
- 9 前提条件 工具などについて使用方法を理解していること。
- 10 本時の指導計画

段 階	学 習 内 容	学 習 活 動	指導上の留意点	評価の観点と評価方法
導入 10分	本時の目標説明 電力調節器のケースを完成させる。	作業内容の確認をする。	本時の作業内容を理解させる。	[関心・意欲・態度] ・専門分野への興味、関心 ・授業参加への積極性や意欲 ・作業および学習への態度
展開 130分	完成品を出荷しようとするときの出荷基準を考える。 ケースを完成させる。 ①ポンチを使い番号やイニシャルを打つ。 ②折り曲げ器で上ケース、下ケース、放熱板を加工する。 ③上ケースと下ケースを組み合わせ、上ケースに合わせネジ用の穴をあける。 ④上ケースと下ケースを組み合わせ、タッピングネジで仮止めする。 ⑤ネジ用穴あけとタッピングネジによる仮止めを1セットで1箇所ごとに行なう。	出荷基準を考える。 ①ポンチを使い記号を打つ。 ②折り曲げ器でケースを加工する。 ③ケースを組み合わせ、ネジ用の穴をあける。 ④上ケースと下ケースを組み合わせ、仮止めする。 ⑤ ③④を繰り返す。	出荷基準について何が大事なのか考えさせる。 使い方の再確認をする。 折り曲げ器の使い方を説明し理解させる。 1箇所あけたら、タッピングネジで仮止めする。 ずれないように1箇所仮止めしたら次のネジ用穴をあける。 これを繰り返す。バリは取らない。 タッピングネジについて理解させる。	[思考・判断・表現] 製作過程についての思考 ・適切に判断し報告 [技能] 技術の活用 [知識・理解] ・加工方法の理解 ・方法
まとめ 10分	①本時のまとめ 進行状況の確認 ②次回予告 基板製作、出荷する場合の線引き	①作業の進行状況の確認をさせる。 ②基板製作に入る。	進行状況を把握する。 次回の予告をする。	「プリントの記入状況」、「実習報告書の点検」による。